

平成26年度 ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業(独自提案事業) 採択事業整理案

【独自提案事業の採択の考え方】

1	森林整備後の管理体制が確保されていない時点で「荒廃した里山・平地林の整備」と同等以上の提案があった場合は、「管理体制の構築に努めることを条件」とし、各事業毎の補助上限額の1/2以内、同一地につき1回限りを条件に独自提案事業として認める。
2	市町村が制度化を図り予算確保した事業で、ぐんま緑の県民税の趣旨に合致するものについては、対象地等が特定されない段階でも独自提案事業として認める。ただし、交付決定は対象地等が特定されてから行うものとし、補助額は各事業毎の補助上限額以内とする。
3	「森林整備後の管理体制の確保」の条件に代わり得る「調査研究」については、効果の発現が速やかにかつ具体的に期待できるものについて認める。

【採択事業案】

番号	市町村名	事業名	事業内容	事業費(円)	事業費の内訳			審査会意見
					県補助金(円)	市町村負担金(円)	採・不	
1	高崎市	高崎自然歩道周辺整備事業	総延長21.7kmの高崎自然歩道において史跡周辺を中心に刈払等による整備を行う 森林整備面積：3.00ha	840,000	420,000	420,000	上記理由1により採択	・継続実施を検討していることから、緊急性等を考慮し、利用頻度の高い箇所から整備する事を求める ・荒廃した里山・平地林の「整備」と同内容の事業であり、整合性を図るため、県補助金額は前記事業の「整備／森林」の上限280千円/haの補助率を基準とし、実行経費で積み上げること
2		里山元気再生事業	野生鳥獣の隠れ場となる竹林等の伐採・下刈りを行い、緩衝帯を整備して、野生鳥獣被害の低減を図る 20団体	6,000,000	3,000,000	3,000,000	上記理由2により採択	・荒廃した里山・平地林の整備と同内容の事業であり、整合性を図るため、県補助金額は前記事業の「整備／竹林」の上限700千円/haの補助率を基準とし、実績は実行経費で積み上げること ・実施団体、箇所、面積を確定した後に補助金申請を行うこと
3	渋川市	竹林整備事業	放置竹林の間伐し、地域の安全・安心に資するほか、伐採竹の利活用についての調査研究を行う 竹林整備面積：0.75ha	4,746,600	(2,373,000)	(2,373,600)	上記理由1により採択	・荒廃した里山・平地林の整備との整合性を図るため、放置竹林の間伐については「困難地整備事業／竹林」の上限2,700千円/haの補助率を基準とする ・既に市が複数年調査をしてきたことから、内容に新規性が認められないため、調査研究に係る費用については補助対象として認めない
採択事業費合計					4,432,500			

【不採択事業案】

4	A	地域植栽事業	町の活性化を目的に町有林の伐採跡地にヤマザクラ等の樹木を植栽	10,000,000	5,000,000	5,000,000	不採択	・本来市町村有林の整備は町が行うべきである ・植栽希望樹種において、一部既存事業で対応可能
5	B	危険木整理事業	公共の場所にあり、風害・虫害・雪害等による危険が予測されている樹木を伐倒・整理	2,000,000	1,000,000	1,000,000	不採択	・単木を対象としているため、面的な広がりがなく、事業効果が薄い
6	C	松くい虫防除事業	町内にある公園周辺の松林の松枯れ防止のための薬剤注入	5,108,400	2,554,000	2,554,400	不採択	・県で実施している既存事業を活用すべき